

広報

かみす

2025年

10/1

No.444

Kamisu public relations



神栖ディスカバリー

File
28

特集



息栖にぎわいテラス

いよいよオープン！ 神栖の食から特産品まで勢ぞろい

息栖神社近くに完成した、カフェ・レストラン・直売所などを一堂に集めた新たなにぎわいの拠点施設を紹介します。

Pick up

- 神栖市長選挙 立候補予定者説明会 P6
- インフルエンザ予防接種(高齢者・小児・妊婦)..... P7
- 新型コロナウイルス感染症予防接種..... P8
- かみす健康マイレージ..... P9



市公式
LINEは
コチラ



広報かみすが動き出す

【COCOAR】アプリをダウンロードし表紙にスマートフォンをかざしてください。詳しくは14ページ



【COCOAR】





特集



息栖にぎわいテラス

いよいよオープン！神栖の食から特産品まで勢ぞろい



息栖神社とその周辺が、歴史や地域の魅力を見つめなおす拠点として、新しい顔を見せています。今回は息栖神社と、完成したばかりの「息栖にぎわいテラス」を訪ねました。新鮮な発見が盛りたくさんです。

歴史と人に寄り添う息栖神社

鎮守の森の静けさと清浄な空気に包まれた息栖神社。遠い昔から地域の人々のよりどころであり、神栖市の地名の由来ともなった由緒ある神社です。近年、息栖神社・鹿島神宮・香取神宮を巡る東国三社詣のブームが再来し、県内外から大勢の参拝客が訪れています。

改修を終えたばかりの神門は朱色も鮮やかで、参道を進むと、昨年建て替えた新社務所が目に入ります。

この息栖神社を守り、大切な年中行事を代々受け継いできたのが、氏子総代会の皆さんです。会長の猿田信守さんに最近の息栖神社の様子を尋



柏屋旅館



猿田信守会長

ねました。

「新社務所や神門の改修の他にも、駐車場周りや外灯の整備、鳥居の洗浄などをおこないました。また、参拝客の増加に伴い、スタッフも増員しています。東国三社詣は、1度きりでなく2度3度といらっしゃる方が多く、年齢層も20代から40代の若い世代やお子さん連れもたくさんお見えになるんですよ。皆さん、境内の自然に癒やされる、空気が気持ちよいとおっしゃってくださいます。私たちは参拝客に寄り添う神社であることを心がけており、気さくに言葉を交わし、御朱印もすべ





1.江戸時代の茶屋が並び息栖の街並みと、旧柏屋旅館をモチーフにした外観 2.食事を楽しみながら夕日を眺めることができる「ゆうひ食堂」 3.一の鳥居が間近に見える「眺望テラス」 4.ゆったりとした時間を過ごせる「おいしいカフェ」 5.太い梁が屋内から屋外の軒下まで張り出す「せがい造り」



て手書きで対応しています」

近年は息栖神社周辺の整備計画によって、二の鳥居から一の鳥居へ向かう参道沿いに息栖にぎわいテラスが建つなど、付近の風景が様変わりしています。

「実は東国三社詣の参拝客は、鹿島神社や香取神宮には2時間ほど滞在されるのに対し、息栖神社の滞在は15分から30分ほどです。参拝客から、神社の近くに休憩や買い物ができる場所がないか質問されることも多いので、息栖にぎわいテラスが完成し、おすすめしやすくなるかもしれませんね」

伝統文化を継承し、癒やしの場としての息栖神社を守り続けることが、猿田さんたち氏子総代会の願いです。

息栖にぎわいテラスがオープン

息栖神社周辺の整備は令和4年に始まり、今年10月1日に拠点施設である息栖にぎわいテラスのオープンを迎えました。石畳風に舗装された参道は、ゆとりを持って歩ける道路幅を確保。息栖神社から一の鳥居に向かって歩くと、旧柏屋旅館跡地に建つ木造建築が姿を見せます。息栖にぎわいテラスの外観は、太い梁が

組まれて軒下の張り出した「せがい造り」が特徴的で、これは市内にある国指定重要文化財「山本家住宅」にも見られる工法です。また、「常陸利根川に沈む夕日が美しい」という地元の方々の声を生かし、1階

2階とも建物の西側に大きな窓を設け、店内から夕日を眺めることができる設計となっています。

それでは、施設内の主なスペースをご紹介します。

「おいしいカフェ」で味わう新作のオリジナルコーヒー

船溜まりに近い1階西側には、一の鳥居の両脇にある忍潮井から名付けた「おいしいカフェ」があります。ガラス張りの開放感あふれる空間で、ここでは神栖市PR大使でバリスタの信太美月さんがブレンドしたオリジナルコーヒーを味わうことができます。



信太美月さん
(プロフィール)
神栖市出身。バリスタ歴10年以上。東京・原宿のカフェ「LATTEST HARAJUKU」でマネージャーを務めながら、モデルとしても活躍するマルチタレント。さらに自身のコーヒーブランド「B.moon Coffee Roaster」では焙煎士としても活動し、豆のセレクトから焙煎までを手がける。テレビ出演などマスメディアでの活躍のほか、SNSでも多くのフォロワーがあり、若年層を中心に支持されている。



オリジナルコーヒーが
完成しました!



神栖オリジナルコーヒー「KAMISU BLEND COFFEE」をつくる
ため、約10種類のブレンドを試作する信太さん



ます。信太さんが、どのような思い
を込めてコーヒーをつくり上げたの
か話してくれました。

「大好きな地元、大好きなコー
ヒーで関わることができてうれしく
思います。市から『さわやかなイ
メージ』という要望があり、それを
コーヒーでどう表現するかさまさま
な角度から考え、息栖神社という神
聖な場所、清らかな心で穏やかな
時間を過ごしていただけるようイ
メージしてつくりました。特別感が
あるけれど普通すぎない、その絶妙
なバランスを狙って約10種類のブレ
ンドを試作。候補の中から最終的に
選んだのは、『コーヒー豆はもとも
と果実だった』ということが分かる
フレッシュな味わいのもの。華やか
だけど品がある、そんな一杯に仕上
げました」

信太さんは、神栖市にも深い思い
を寄せています。「海や緑があって
人とのつながりが強くて温かい。格
好つけないでいいので、自分が自分
でいられる場所です。この機会に、
もっと地元と積極的に関わって、例
えばおいしいカフェでラテアートの
ワークショップを開くなど、何か楽
しいことができればいいなと夢を膨

らませています」

神栖の食から工芸品まで 自慢の特産品が大集合!

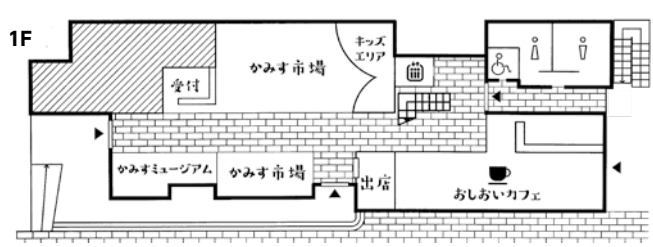
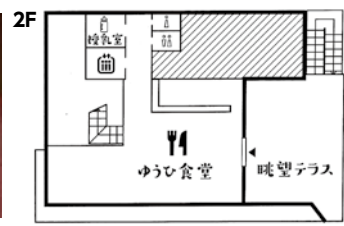
1階には他にも、かみす
市場、かみすミュージアム、
キッズエリア、出店(テイク
アウトコーナー)などがあり
ます。中央の石畳風の通路は
『裏参道』という位置付けで、
のんびり散歩をするような気
分でお買い物などを楽しま
す。また、受付にはコンシエ
ルジュが常駐しており、施設
のインフォメーションや観光
案内などを担います。

かみす市場には、市の特産品が大
集合。市内でお土産をまとめて買え
る場所が求められていたため、神栖
市初の取り組みとして設けました。
現在までに野菜、果物、水産加工品、
工芸品などの出店が決まっており、
引き続き出店希望者を募集していま
す。観光客はもちろん、市民の皆さ
んがお友達を案内したり、普段の買
い物の利用にもおすすめです。
かみすミュージアムは、パネル展
などで市の観光情報を発信します。
息栖神社を訪れた人たちに神栖市を



鳥居を眺めながらコーヒーを味わう贅沢な時間

裏参道をイメージした施設内の通路



知ってもらい、何度でも足を運びたくなるようなきっかけをつくります。市民の皆さんにもぜひご覧いただきたい場所です。意外と見過ごしがちな地元の魅力を再発見し、出かけた場所や見たいもの、買いたいものが増えるかもしれません。

常陸利根川と夕日を眺めて

2階に上がると「ゆうひ食堂」があります。1階と同じく西側一面はガラス張りになっており、大きな窓から広がる眺望を楽しみながら食事ができます。店名のとおり、空や常陸利根川が夕日に染まる時間帯は格別です。また、北側の窓には組子細工をイメージしたデザインが施され、夕方には窓の外からのライトアップ

で模様が浮き上がります。この素敵な空間で提供されるのは、神栖市の食材を使ったオリジナルメニュー。あれもこれも、食べてみたくなりそうです。

西側の窓の向こうは眺望テラス。

テーブルやイスが用意されており、気持ち良い風に吹かれながら食事を楽しむことができます。船溜まりや一の鳥居を高い位置から見ることができ、見慣れた景色も新鮮に感じられます。

息栖神社の光の道

「一の鳥居、二の鳥居、神門を一直線に結ぶ夕日の道ができるんですよ。2月上旬と11月上旬の年2回だけ見ることが出来ます」と猿田さんが教えてくれました。同じ時期に見

られると例えば、外浪逆浦(鰐川橋)などから望めるダイヤモンド富士もあります。神秘的な風景に出会えるのも、大きな魅力と言えるでしょう。

魅力と出会う素敵な時間を！

このエリアを大勢の人々が行き交うと、水上交通が盛んで、にぎわっていた江戸時代の街並みに思いを馳せてみたくなるかもしれません。そんなイメージがさらに膨らむような計画もあります。息栖にぎわいテラスのオープニングセレモニーでは、試験的に船で常陸利根川を周遊する予定です。いつの日か東国三社巡りに、また新しい魅力が加わるかもしれません。

最後に、猿田さんは「参拝客の皆

さんが落ち着いてお参りできる環境を守り、親しみを感じていただけるようフレンドリーにお迎えします」、信太さんは「カフェが人と人がつながる場所になればうれしいです。訪れたすべての皆さんにとって、素敵な時間が流れますように！」と、温かいメッセージを寄せてくれました。

息栖神社とその周辺のにぎわいに皆さんはそこで何を感じ、どんな発見をするでしょうか。さあ、訪れてみませんか？



江戸時代の息栖神社と参道を再現したジオラマ(歴史民俗資料館)



- 1.窓には組子細工をイメージしたデザインが
- 2.「眺望テラス」からの常陸利根川に夕日が沈む様子は絶景
- 3.和と歴史、人と人をつなぐ新たなにぎわいの拠点
- 4.夕日に染まる外浪逆浦とダイヤモンド富士

写真提供：細谷智氏
撮影場所：鰐川橋
撮影時期：2021年2月